

市史編さんだより

2007.1.4

市史講演会でのアンケート結果から

2006（平成18）年11月25日（土）に、市史講演会を開催しました。当日は、100人を超える方にご参加いただきました。

当日、参加者を対象にこうした講演会や市史編さん事業への要望などを把握するため、アンケートを実施しました。以下、結果を報告いたします。

（無記名式／参加者110人に対し回答者79人／回収率72パーセント）



なお、今回の講演会は、講師に栗田尚弥さん（国学院大学講師・市史編集委員会委員）を迎え、「キャンプ座間序章－占領軍と相模原－」と題し、講演していただきました（上の写真）。

（各表中の単位：人）

設問1 市史講演会を何で知りましたか（複数回答可）

広報さがみはら	50
ポスター・チラシ	19
市史編さんだより	1
市史編さん室ホームページ	2
FMさがみ	0
博物館NEWS	9
ほか	10

設問2 講演会で今後取りあげてほしい分野がありますか（複数回答可）

歴史学	61
民俗学	35
考古学	20
動物学	5
植物学	6
地質学	10
ほか	5

設問3 相模原市史の『第1巻～第7巻』や『現代図録編』を知っていますか

読んだことがある	30
知っているが読んだことはない	27
知らない	19
不明（未記入）	3

設問4 お住まいについて

相模原市内	71
神奈川県内	2（座間2）
東京都内	6（町田5など）
その他の地域	0

（2ページへ続く）



熱心に聴講される参加者の皆さん

設問 5 博物館への交通手段（主なものをひとつ）

徒歩	12
自転車・バイク	30
自家用車	30
電車・バス・タクシー	7

設問 6 年齢等について

高校生	0
専門学校生	0
大学生	1
上記以外の 15 歳～29 歳	1
30～39 歳	4
40～49 歳	6
50～59 歳	8
60～69 歳	30
70 歳以上	28
不明（未記入）	1

設問 7 市史講演会や『相模原市史』について、ご意見・ご希望があればお書きください。

<主な意見>

- ・進駐軍の経緯がよく理解できた。
- ・企画等、タイムリーな内容であり、有意義な講演会で、今後もぜひ継続してほしい。
- ・今日の講演の続きを企画してほしい。
- ・今日の講演は、日本人が知らないことが多いこと、問題を整理する視点を教わった。

また、「(相模原市史を) 郵送で購入できるのでしょうか」とのお問い合わせをいただきました。配送の取扱いをしておりますので、市史編さん室までお問い合わせください。なお、市史編さん室ホームページでも購入方法をご案内しております。

ほかに、「年間スケジュールを4月に発表しては」とのご意見がありましたが、博物館の講演会と併せてチラシ・ホームページなどでお知らせしています。

市史編さん室では、これらの結果を今後の事業運営に生かすように努めてまいります。

今回の講演の内容については・・・

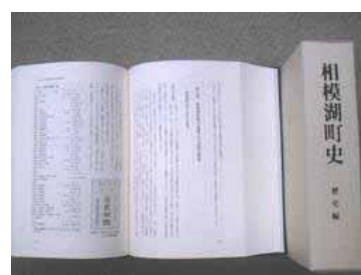
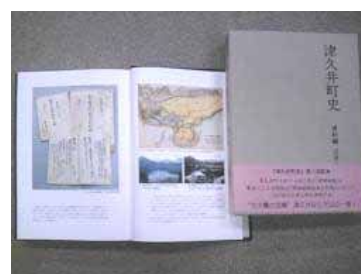
「相模原市史ノート第4号」(2007(平成19)年3月刊行)に掲載する予定です。



津久井町史・相模湖町史を販売中

市史編さん室と市立博物館、市役所・津久井総合事務所・相模湖総合事務所の各行政資料コーナーで、販売しています。

【津久井町史】	価格(円)
津久井町の昆虫 I	1,700
津久井町史 資料編 近世 1	2,000
【相模湖町史】	
相模湖町史 歴史編	14,000



シリーズ 駅・いまむかし④

小田急線 東林間駅

小田急江ノ島線は1929(昭和4)年に開通しました。当時は「東林間都市」の名称でした。隣の中央林間(当時は中央林間都市)、南林間(同南林間都市)の各駅と共に、鉄道会社が「林間都市構想」として駅周辺に放射・碁盤の目状に道路を配置し、住宅地として分譲したものです。土地の購入者には、電車の優待乗車証が発行されたそうです。しかし「都市」化はなかなか進展せず、1941(昭和16)年に「東林間」に改称されました。

1982(昭和57)年、現在の橋上駅舎となりました。そして周辺地域には商店街やマンションなどが立ち並び、今ではすっかり「都市」化が進んでいます。

(参考：『小田急五十年史』(1980) 小田急電鉄株式会社)



現在の駅。この季節にはクリスマスツリーが飾られている。(2006(平成18)年12月)

表：小田急線東林間駅の1日平均乗車人員の変遷

(相模原市史『現代図録編』所収「駅別1日平均乗車人員」から作成)

年度	人
1953 (S28)	236
1955 (S30)	354
1960 (S35)	1,080
1965 (S40)	2,968
1969 (S44)	7,091
1975 (S50)	9,849
1980 (S55)	10,429
1985 (S60)	10,962
1990 (H2)	12,190
1995 (H7)	11,939
2000 (H12)	10,938



1982(昭和57)年8月撮影
改札口の形に注目
(相模原市所蔵)

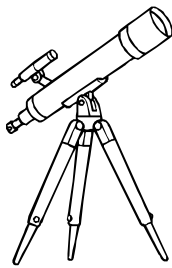
市史編さん審議会を開催

12月20日(水)に、市立博物館小会議室で開催しました。今回は「市史編さん事業の実施状況について」「平成19年度の事業の見通しについて」「歴史資料としての公文書の保存活用について」などの内容が審議されました。



以下の刊行物を販売しています。お求めは、市史編さん室・市立博物館・行政資料コーナーへどうぞ。なお、送料実費負担で配送の取扱いもいたします。

刊行物名	価格	大きさ・ページ数	刊行時期
相模原市史現代図録編	1,500円	A4判・296ページ	平成16年11月
相模原市史第1～7巻	1,900～4,500円	B5判・598～842ページ	昭和39～47年
相模原市史ノート創刊号	350円	A5判・112ページ	平成16年3月
相模原市史ノート第2号	700円	A5判・103ページ	平成17年3月
相模原市史ノート第3号	600円	A5判・102ページ	平成18年3月



編さん室の動き (11月～12月)

月	日	内 容
11	1	「市史編さんだより第33号」発行 市史編さん調査員委嘱式
	7	『相模原市教育史』の資料調査（光が丘小学校内）
	12	近現代部会開催
	20	民俗編資料調査（上溝・個人宅／28日にも実施）
	25	市史講演会「キャンプ座間序章ー占領軍と相模原」開催 (市立博物館大会室／参加110人／1ページに関連記事)
	29	神史協研修会に参加（県立公文書館）
12	6	民俗編調査（上溝・個人宅／11・13日にも実施）
	8	現代編資料調査（横浜市史資料室）
	20	市史編さん審議会開催（市立博物館小会議室／3ページに関連記事）
	21	近現代部会市制担当打合せ（東京・千代田区内）
	28	市史編さん室仕事納め
	随時	現代資料編収集資料の翻訳・筆耕作業（市史編さん室事務室ほか）

市史編さん室の新しいスタッフです

秋山 菜美子（あきやま・なみこ）調査員

民俗学・社会教育を専門に学んでおります。着任したばかりでまだまだ不慣れではありますが、相模原という土地に愛着を持って市史編さんの仕事に携わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



新・相模原市
ともに築こう 新たな未来
 相模原市 + 津久井町 + 相模湖町 + 城山町 + 藤野町

「さがみはら市史編さんだより」第34号

発行 2007(平成19)年1月4日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19(市立博物館隣り)

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

ホームページ(右写真) : <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp> (相模原市トップページ)

(市のプロフィール⇒市史編さんについて、または観光・文化⇒市史編さん の順でご覧になれます。)

